

2009年2月9日

スペイン中の諸召会の親愛なる聖徒たちへ：

スペインにおける働きと諸召会で責任を負っている兄弟たちとして、わたしたちは、過去数年間スペインで活発になっている分裂的で人を欺く働きについて、あなたがたに警告する責任を負っています。2005年、Fernando Aguera 兄弟がマドリードに到着しました。その時以来、彼と、ドン兄弟の働きを代表する他の人たちが、ドン・ユー・ラン兄弟の異なる教えを侵略的に広めて、主の回復の務めと働き全般に対抗し続けています。マドリードの兄弟たちから Fernando 兄弟に対して、彼にやめるように、また彼がやめることを確約するにははっきりと要求しましたが、この働きは継続されています。

ドン兄弟の働き人たちは、スペインでも、すでに設立されている諸召会との交わりから離れて集会を始めています。この働きは、偽装する、秘密主義的な方法という光の子供たち（エペソ 5:5:8）に、ましてや主の僕にふさわしくない方法でなされています。新約の務めの真の奉仕者たちは悪巧みの中で務めを行なうのではなく、真理を表明することによって行います（□コリント 4:2. 参照、エペソ 4:14 とそのフットノート）。わたしたちはあなたがたに、ドン・ユー・ランの働き人たちの説得力ある話し方によってた惑わされることのないように警告します（コロサイ 2:4）。

2006年暮れ、 Fernando 兄弟が二人のドン兄弟の同労者と共にスペイン中を旅して、ドン兄弟の務めと出版物を広めたという報告がバルセロナ、コルドバ、Huelva, マドリード、Malaga, Valencia, and Valladolid から届き始めました。少なくとも一つの事例において、ドン兄弟の働き人たちは、一つの出版の働きにおいて制限されることについての同労者たちの交わりに公然と反対し、リビング・ストリーム・ミニストリー (LSM) とヨーロッパにある諸召会について批判的に語りました。Fernando 自身は、マドリードに在る召会の祈りの集会と務めの集会について批判しました。彼は、マドリードに在る召会が観ていた務めのビデオで語っていた兄弟のことを「反逆的な」人々であると言いました。

Fernando と他のドン兄弟の同労者たちが、彼らの働きのために訓練センターを設立し、バンを一台入手してドン兄弟の出版物を広め、特別集会の予定まで準備するために画策しているところであることを知りました。これはすべて、スペインにおける主の回復を遂行するために一つ思いの中で同意し、一つ思いの中で共に労苦している諸召会と働き人たちと、何の交わりもなしに行なわれました。

2007年2月14日、Fernando はマドリードの兄弟たちによって自分の独立した働きに関して制止されたとき、彼は、ヨーロッパにおける彼らの働きに大いにかかわっているドン兄弟の同労者である Solomon Ma 兄弟が、ドン兄弟の働き人たちがヨーロッパで行なっていることについて Joe Davis 兄弟と話し合ったこと、Joe Davis 兄弟がそれに賛成していることを主張しました。これは真実ではありませんでした。実は、Joe Davis はその前の年に Solomon と、ドン兄弟のヨーロッパにおける別の働き人である Joao Antenelli に手紙を書いているのです。その手紙の内容は、ドン兄弟の働き人たちがヨーロッパで独立的におこなっている活動と、ドン兄弟の出版物の頒布が、ウイトネス・リー兄弟の模範と指導に従ってヨーロッパで労苦している兄弟たちと一切の交わりなしに行なわれたことを知った時の驚きと警告でした。マドリードの兄弟たちがこの手紙とその内容について Fernando 兄弟に話した時、彼はその手紙を知っていることを認めました。その時、彼は態度を変えて

、ヨーロッパの同労者たち、LSM、スペインの諸召会、リー兄弟、同労者たち全般について、長い、猛烈な批判を始めたのです。

この後、Fernando はバルセロナに移住して、分裂的な方法で働きを継続しました。2007年2月までに10年間集会をしているすでにそこにいる聖徒たちから離れて、彼はそこでいわゆる「パン裂き」の集会を始めました。2007年6月18日、3人の同労者 Sherman Robertson, Victor Molina, Paul Hon が Fernando を訪問し、すでにいる聖徒たちを無視して不法なパン裂きを持つことについて彼に警告を与えました。Fernando は、すでにマドリードで否定されたにもかかわらず、Joe Davis は彼の働きについて知っており、賛成しているとまたもや虚偽の主張をしました。ドン兄弟の働きの「パン裂き」は、バルセロナに在る召会から離れた状態で継続されました。ドン兄弟の息子であり、もう一人の年長の働き人であるアンドレは、バルセロナでのその分裂的な集まりで集会し、2008年4月にそこで特別集会を開きました。

Fernando がバルセロナにいたとき、マドリードに在る召会の兄弟たちと交わらず、また彼らに知らせることもなくマドリードでドン兄弟の働きを継続しました。彼は否定しましたが、彼がマドリードで第二の、競合する「パン裂き」を設立したことが報告されました。疑う余地もなく、彼は聖徒たちにスペインの諸召会から去り、彼らの別の集会に参加するように圧力をかけました。彼は同情を得るために、彼がマドリードに在る召会から「放り出された」と聖徒たちに言いましたが、その告発は虚偽です。

数組の働き人たちがドン兄弟の働きによって送り出されて、スペイン中を旅して回り、Fernando 兄弟を助けてドン兄弟の文書を流布し、「召会」と「パン裂き」の集会を開始しました。この働きは同様に、スペインの諸召会や聖徒たち、ヨーロッパにおける同労者たちから独立して遂行されています。

親愛なる聖徒たち、たとえその働き人たちが地方の立場に立つ召会を設立したと主張しようとも、それが生み出すそのような個人的で秘密裏になされるの働きと閉鎖的な交わりは分裂的であることを、わたしたちははっきり認識しなくてはなりません。地方の立場は、分裂の口実にはなりません。それは、一の立場なのです。地方召会はキリストの宇宙的なからだの地方的な表現です。地方召会の証しとは、それがすべての信者たちを受け入れること、キリストのからだの唯一無二の交わりの中にあるほかのすべての真の地方召会と交わることです(□コリント1:9)。ドン兄弟の働き人たちの実行は、たった2名の信者たちで一つの地方でパンを裂くことで「旗を立てる」という方法であって、地方が彼らの個人的な働きの領域であることを主張するためです。この実行は、真理には基づいていません。召会を自称しながらも、一般的な交わりから離れている人たちは、彼らが真の地方召会であると考えていることにおいて自分たち自身を欺いているのです。彼らは、実際のところ、地方分派なのです。

地方召会は、その地方のすべての聖徒たちに開いているもの、また他のすべての地方召会に開いているものです。他の地方召会と交わりを持つとしない、いわゆる地方召会があるとしたら、それは地方召会ではありません。それは、墮落したキリスト教の繰り返しです。交わりを拒むことによって、このいわゆる地方召会は、地方分派となります。(ウイットネス・リー、「新約正典の中のすばらしいキリスト」137ページ)

主の食卓のパンは象徴です。それは、物質的な体とキリストの奥義的なからだの両方の交わりを表現するものです（□コリント 10:16）。それは、わたしたちがすべての主の子供たちと共に一つの共通した交わりにあずかること、主がご自身を彼のすべての信者たちに彼の犠牲の死を通して彼らの命として、またすべてとして与えられたこと、またかしらとしての彼ご自身と共にわたしたちを一つの有機的なからだとして構成なさったことを指し示しています。この共通の交わりを代表しないパンを裂く人たちは、彼らがどのように自称しようとも、分派主義を実行しているのです。パウロがわたしたちに主のからだをわきまえるように命じたのは、このためです（□コリント 11:29）。

わたしたちの識別すべき第一の項目は、主の食卓のパンです。主の食卓のパンは、主の物質の体だけでなく、宇宙的に一である主の奥義的なからだ（エペソ四・四）の表徴でもあります。全地の多くの都市で、わたしたちは主の食卓にあずかるのですが、みな一つパンにあずかっているのです。なぜなら、わたしたちのあずかるパンは、宇宙的に一であるキリストの奥義的なからだの表徴であるからです。ですから、コリント人への第一の手紙第十章十七節は言います、「数多いわたしたちが一つパンであるからには、一つからだなのである、わたしたちはみな一つパンにあずかるからである」。主の一つの宇宙的からだではなく、ある分派の団体を表徴する主の食卓のどんなパンも、分裂的です。（ウイットネス・リー、「主の回復の簡潔な提示」、34 ページ）

聖徒たちが理解すべき重要な点は、ドン兄弟と彼の働き人たちが引き起こした問題と、彼らが働く方法とは、単に個人的な欠点であるというわけではないということです。むしろ、それらはドン兄弟と彼の働き人たちがスペインやヨーロッパだけではなく、世界中の他の多くの個所でも行なっている方法の特徴なのです。彼ら自身の働きの外側にある諸召会すべては墮落してラオデキヤになっており、彼の働きを通して興された諸召会だけがヒラデルヒヤであり、彼らはそのような者として、彼らがラオデキヤと見なしている人々から分離され続けるべきであるとの見方を、ドン兄弟は彼の働き人たちに刷り込んでいます。

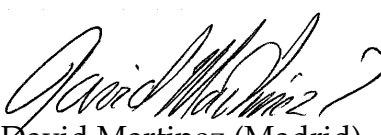
ドン兄弟は、彼の独立的な働きを弁護するために、狡猾な神話を考案しました。彼は、新約聖書の著者を三つのグループに分けます。十二使徒の「伝統的」務め、使徒パウロの「法理的」務め（彼の定義によれば、律法的、あるいは教理的という意味）、ヨハネの「有機的」務めです。そして彼は、神は十二使徒の務めとパウロの務めを快く思っておられず、それゆえにどちらも終わらせられたと主張します。ドン兄弟によれば、神はヨハネの務めだけを喜ばれるというのです。

そしてドン兄弟はこの神話を彼自身お務めと働きをそのほかのすべてよりも上に上げるための枠組み（template）として利用します。彼は、ニー兄弟は真理をキリスト教の「伝統的」な領域から外にもたらしたとしながらも、ニー兄弟とリー兄弟の務めを「法理的」であるとして見下します。対照的に、彼自身の働きはヨハネの「有機的」務めの唯一の継続であると彼は主張します。この枠組みによれば、ただドン兄弟の務めとそれが生み出すものだけ、主の再来の時まで継続するのです。ドン・ユー・ランと彼の同労者たちは、他の働き人と諸召会を完全に無視することを正当化するために、この誤りの体系（エペソ 4:14）を使っているのです。

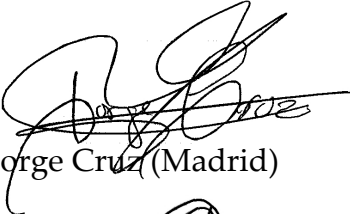
ですからわたしたちは、スペインの諸召会の聖徒たちに、ドン兄弟の働き人や、彼らが流布している彼の出版物、異なる教えを受け入れないよう命じます（ローマ 16:17. □テモテ

1:3-4)。彼らの実は、スペインにおいてだけでなく、彼らがすでに行っている世界中のほとんどの所においてもはっきり表れているのは、一貫して分裂と混乱です。多くの聖徒たちが知らないでドン兄弟の働き人たちに誤って導かれているのですが、主の回復における主の現在の動きにあずかりたい真に願っていることをわたしたちは理解しています。わたしたちはこれらの聖徒たちをわたしたちの交わりへと招きます。それは、わたしたちが主の権益のために共に進むためです。しかしながら、わたしたちの間にいる聖徒たちで、だれであれドン・ユー・ランの働きに関わっている人、影響を受けている人と接触している人には、それをあなたの地方の指導的兄弟たちに知らせるように求めます。

この手紙の警告は、スペインのすべての諸召会が使徒たちの教えにおける健康な言葉の中で守られるために必要なものです（□テモテ 6:3.テトス 1:9.使徒 2:42）。主と共に取り組んで、彼がスペインの諸召会で成し遂げられたことを守り、諸召会がヨーロッパの、また世界中のすべての諸召会と共に一つ思いの中で前進できるようにすることが、わたしたちの願いです（使徒 2:46 ローマ 15:6）。終わりの時まで、あなたがたが祈り、絶えず警戒するように求めます。



David Martinez (Madrid)

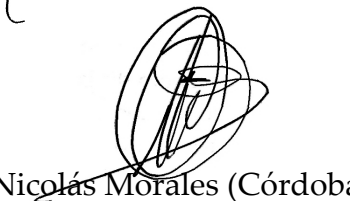


Jorge Cruz (Madrid)

Cristóbal Linero (Málaga)



Diego Diaz (Málaga)



Nicolás Morales (Córdoba)



Manuel de la Rica (Córdoba)



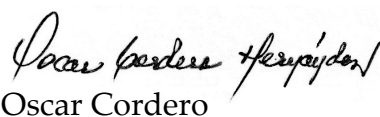
Joe Davis



Bill Lewallen



Hector Aponte



Oscar Cordero



Jameson Chen



Russell Cox